売り場観測

カラフル／シンプル

専門店 レディス 6月

トレンドの白を基調としたシンプルなスタイルに加えて、夏らしいインパクトある色柄使いも強まってきた。マキシワンピースやマキシスカート、ワイドパンツを軸にしたリラックススタイルが継続している。

インパクトある色柄使いは、1枚で様になるうえ、重ね着せずに涼しくいられる楽さから浮上。動植物モチーフの大柄や、ビビッドカラー、早くも秋気分を感じられる深みのある色などがワンピースやワイドパンツ、チュニックなどで動いている。春から好調なドットやボーダーも引き続き元気。トレンドの白はロングヒット中のシャツやブラウスをはじめ、一部ではデニムでも当たっている。

小物はコサージュやパールで飾ったかごバッグや、レザーのポシェット、刺繍使いのストール、ウエッジサンダル、カラフルな色柄の水着など。

ローズバッド新宿店

秋色夏素材で期待のワイドパンツ、1万290円、キャミソール4830円、ともに「ローズバッド」

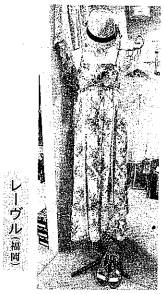
継続人気のマキシワンピースは秋色夏素材・シャツタイプの羽織り物提案「ローズバッド」1万290円、ショートパンツ「Jブランド」1万8690円、ガーリーなデザインものが急浮上中のかごバッグ「WFパックス」5880円

ロングボトム人気は継続

クルーン・ア・ソング 銀座マロニエゲート店

㊨レースカーディガン、ペアトップワンピースとしても着られるドレス「コルテスワークス」2万7300円、アシメトリーなパールネックレス「ラダ」1万4490円

㊧インパクトあるビーズネックレス付きのカットソートップ1万6800円、麻混のチェック柄ショートパンツ2万3100円、ともに「ジュヌヴィエーヴ」



レーヴル（福岡）

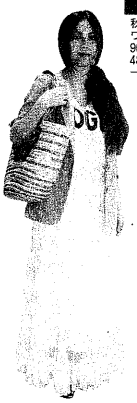
花柄プリントにレースをたたいたエンパイアラインワンピース「ライザ」2万2050円、麦わら帽子「アフロディーテ」4095円、スペイン「ヴィドレッタ」のエスパドリーユ9975円

アーバンリサーチ・ロッソ神戸店

ストライプ柄の布帛と組み合わせたTシャツ1万1550円、裾をスカラップ状にした綿のショートパンツ1万1340円、ともに「ロッソ」、花や葉をモチーフにしたゴールドのネックレス「ラダ」1万6800円

フリーズマート自由が丘店

ボウタイ付きのシフォンブラウスが通勤対応としても売れている。無地、ドット柄、花柄の合計で2500枚以上を売った。ブラウス4410円、バギーデニムパンツ5460円、シューズ5985円、帽子6930円、全て「フリーズマート」



ドレープ感のあるロング丈テーラードジャケットがマキシスカートとのコーディネートで人気。春夏の累計で1000枚以上売った。ジャケット8925円、レースの切り替えのコットンマキシスカート5985円、かごバッグ5145円、全て「フリーズマート」

綿・麻のノーカラーブルゾン9345円、マキシ丈のレーススカート1万290円、ともに「ブランシュール」

ブランシュール心斎橋オーパ店

変形ポケットが特徴のレーヨンシャツ9345円、ボーダー柄カットソートップ4725円、ケミカルウオッシュ加工したレギンスパンツ7875円、全て「ブランシュール」

フィント名古屋パルコ店

薄いグリーンのチェックワンピース、8820円「アンアナザーアンジェラス」、レース襟付きカーディガン、5880円「アンアナザーアンジェラス」。レース付き靴下、1575円「フィント」。ローファー、6930円「アンアナザーアンジェラス」。かごバッグ、6930円「フィント」

（価格は税込み）

●今月のアピール

ローズバッド新宿店　透け感や落ち感のある薄手素材の秋色アイテムを打ち出す。なかでもシフォンなどのワイドパンツや、シャツタイプのマキシワンピースに期待。マキシワンピースはショートパンツスタイルに合わせる羽織り物として提案するのが新しいところ。「Jブランド」ではデニムより動きのいいチノパンに引き続き期待。久しぶりに揃えた「エイプリル77」のパンツも充実する。

◇

フリーズマート自由が丘店　6月半ばから一部店舗でセールが始まるが、ピークは7月頭になると予想している。セール開始までは、人気のマキシスカートやボタンダウンシャツなどの追加投入品や廃番なベーシックカットソー類を売る。毎シーズン、セール中に併売するプロパー価格商品の動きが良いので、今シーズンも中衣料で4000円前後、軽衣料で2000円前後の商品を価格を下げずに売る考え。

◇

クルーン・ア・ソング銀座マロニエゲート店　強みのパーティードレスを強化する。別々で着れば普段使いできるツーピースや、首周りにボリュームがあり、アクセサリーが必要ないものなど、お得感のあるドレスを揃える。クラッチバッグも1万円未満の物を幅広く揃えて、セット率を上げる。今月中旬までドレスフェアを実施して、1～2割引きで販売し、プレセールまで引っ張る。

◇

フィント名古屋パルコ店　5月に引き続き、レースや刺繍の襟を付けたカーディガンやTシャツを前面に、同様のモチーフを駆使したワンピースを拡充する。この春は緑色の動きが良く、「エコロジーやエシカル！」といった自然を意識したテイストを求める顧客が増えている。薄いグリーンのチェックのワンピースや、セーラーカラーのブラウスなどマリンや自然なイメージの商品を中心に提案する。

◇

ブランシュール心斎橋オーパ店　薄手のノーカラーブルゾンとシャツがコーディネートの中心。袖がロールアップできる綿・麻のノーカラーブルゾンは、ちょっと涼しいときに羽織るのにぴったり。形がコンパクトなのでマキシ丈スカートによく合う。落ち感のあるレーヨン素材のシャツは細身のシルエット。レギンスパンツやヒットしているセミワイドパンツなどに合わせて提案する。

◇

アーバンリサーチ・ロッソ神戸店　シンプルな布帛シャツの売れ行きが変わらない。Tシャツと、ストライプやチェック柄の布帛シャツ地を組み合わせた重ね着風のアイテムを推していきたい。相性のよいショートボトムとコーディネートする。セールを前に、無地のマキシ丈ワンピース（1万2000円前後）などの売れ筋商品も合めて、販売機会ロスが出ないよう注意する。飽きられないＶＭＤの工夫が求められる。

◇

レーヴル（福岡）　ワンピースやドレスは好調で、7月実需向けに期待する。オケージョン向けには1枚で着られる袖付きのもの、普段着にはノースリーブ、またペーズリーや鮮やかな花柄で夏らしさを強めるなど、素材やデザインを変えて提案を切らさないようにする。羽織り物はバッグに丸めて入れてもしわにならないカーディガンなど、不安定な気温変化に重宝するアイテムで需要を喚起する。

5月の結果

連休が好調だった分、その後の反動で客足が鈍り、苦戦した店が多かった。早くもセール待ちを感じている店があるほか、関西では開業したルクアに客をさらわれたと指摘する声が挙がっている。ただ、顧客がついている店は一見客の多い連休より好調で、客単価が2万円に上がったところもある。